

北里大学病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	内反型変形性膝関節症に対する内側ウェッジ型足底板装具の治療効果の検討
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学医学部 整形外科 診療講師 岩瀬大
他の研究機関および 各施設の研究責任者	下北沢病院 菊池恭太
本研究の概要・背景・目的	<p>近年、高齢化社会の進行に伴い変形性膝関節症(以下:膝 OA)の発症率も増加しています。同時に人工膝関節置換術をはじめとする膝関節の手術件数も増加しています。そのため国民医療費の負担額も増加し、国の財政を圧迫しているのも事実であります。また患者さまに対する負担を軽減する意味でも可能な限り保存的に治療を行うべきであると考えております。足底板装具は膝 OA に対する保存的治療の一つではありますが、内反型膝 OA に対しては外側ウェッジ型足底板装具を使用するのが一般的です。しかし、内反型膝 OA の患者さまの多くは後足部の外反変形を伴うことが多く、外側ウェッジ型足底板装具を用いることは、更なる後足部外反変形を助長し、それに伴う膝関節痛の増強をもたらす可能性があると考えております。我々はその様な考えのもとに、内反型膝 OA に対し、内側ウェッジ型足底板装具の装着を指示することがあります。</p> <p>今回の調査は、内反型膝 OA の患者さまに対し、内側ウェッジ型足底板装具を装着してもらい、その後の臨床成績を調査することが目的です。</p>
調査データ 該当期間	2020年4月1日から2023年2月28日までの情報を調査期間とします。
対象となる患者さま	2020年4月1日から2023年2月28日までに、内反型変形性膝関節症に対し内側型足底板装具にて治療を行い、装具装着前の臨床評価および画像評価、装着後半年以上の臨床評価が行えた患者
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報 足底板装具装着時の年齢、性別、身長、体重、臨床所見およびレントゲン画像、装着後1.5ヶ月、3ヶ月、6ヶ月時の臨床所見を診療録などから調査します。全ての情報は2020年4月1日から2023年2月28日までのものを使用します。上記調査項目はすべて通常診療内のデータのみであり、データをこの研究のために収集する必要はありません。またデータの管理に関しては個人情報保護法に準じて行い、データ上すべての患者さんは匿名化され、お名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありません。</p>
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究を行うにあたり、明確な資金は要しません。論文校正、投稿費に関しては整形外科一般研究費を用います。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>

	利益相反については北里大学利益相反委員会で審査され適切に管理されています。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：整形外科 診療講師 担当者：岩瀬 大(イワセダイ) 電 話：042-778-8111(北里大学病院代表)
備 考	